

Q&A

女性の意見が発信しやすいまちへ  
市民の活動をもっと観光振興に生かす



和田 美奈 議員

MINA WADA



**女性の活躍推進と「女性リーダー」の育成について**

**問** 女性にとって魅力ある地域を創っていくことは、地方創生や少子化対策を考える重要な鍵となる。女性リーダーの育成や交流も含め、今後、どのような取組が必要と考えるか。

**答** 本市にはすでに多数の女性リーダーのボランティア団体が地域で活躍されている。今年8月に市内で活躍されている女性リーダーの方々にご参集いただき「たつの市女性活躍ネットワーク会議」を開催した。参加者は、それぞれの団体とのネットワークを構築することが重要であるとの共通認識を持たれた。今後、ネットワーキング会



女性活躍ネットワーク会議の様子

議を続けて行き、参加者を増やして、行政とのつながりを増やし、女性が各方面で活躍できるような取組を進めて行きたい。

**市の観光振興について**

**問** 市内には多くの地域資源や観光資源があり、それらを学びPRするためには沢山の団体が活動されている。文化や芸術などを生かし観光に結びつける活動団体については、観光振興課との連携をより強化していくべきではないか。また、団体間の横の連携も取り効果的にPRするべきと考えるがどうか。

**答** 市内には社会教育活動をされている団体が約100以上ある。その中で、観光振興に役立つような活動をされているところとは連携を取って、支援もしている。今後、観光の側面を持つ団体の横の連携をつくっていくためのグループ化やネットワーク化への支援をしていくことについては、検討していきたい。

**その他の質問事項**

- 宮内川の雨水対策について
- 通学路の防犯カメラ設置について

Q&A

たつの市総合計画「人口ビジョン」に示された取組について



赤木 和雄 議員

KAZUO AKAGI



**総合計画の答申に関する新聞記事の中で、市長が「たつらしさを大切にまちづくりに取り組み」と述べられた。今後、市民の思う「たつらしさ」を追求し、独自性の創出につながるような取組について以下を問う。**

**問** 少子高齢化社会が、想定以上に進行している現状から、たつの市人口ビジョンに示された取組について、現在行っている少子化対策で、対応可能と考えているか。

**答** 現行の施策は、結婚をした人を対象とした、女性の共働き、育児との両立支援に集中しているのが現状であり、今後は日本独特の倫理観を変えるようなインパクトのある施策を国と地方自治体とが連携して取り組む必要性を感じている。

**問** 若者の流出抑止施策について

**答** 若者定住促進住宅取得支援事業、地縁者住宅・新規居住者住宅等の特別指定区域制度、まるごと就職支援事業、企業立地奨励事業、創業支援事業等がある。

次年度以降は、大学生への奨学金については、Uターンした場合には、返済に係る支援等を検討したい。

**定住促進・空き家対策を進め、魅力的な住環境の整備を図る取組について伺う。**

**問** 移住・定住を促進する事業の効果はどうか。

**答** 転入者住宅取得奨励金や若者住宅取得奨励金の事業実施により、子供子育て世代における転入超過の傾向が見られることから、魅力的な施策と考える。

**転入者住宅取得奨励金 50万円**  
**若者住宅取得奨励金 30万円**

**問** 空き家相談センターの活用実態、空き家バンクの登録者の現状はどうか。

**答** 空き家相談センターの相談件数は年々増加している。

空き家バンクの登録件数は、登録物件数、登録者数、成約件数とも年々増加の傾向にある。